MIC Worship Service – 2023.01.08

Title: "Receive God's Promises"

Text: Isaiah 54:1~8 神様の約束を受け取る

聖書箇所: イザヤ書 54 章 1~8 節 (新改訳)

¹ "Sing, barren woman, you who never bore a child; burst into song, shout for joy, you who were never in labor; because more are the children of the desolate woman than of her who has a husband," says the Lord. ² "Enlarge the place of your tent, stretch your tent curtains wide, do not hold back; lengthen your cords, strengthen your stakes. ³ For you will spread out to the right and to the left; your descendants will dispossess nations and settle in their desolate cities.

⁴ "Do not be afraid; you will not be put to shame. Do not fear disgrace; you will not be humiliated. You will forget the shame of your youth and remember no more the reproach of your widowhood. ⁵ For your Maker is your husband the Lord Almighty is his name—the Holy One of Israel is your Redeemer; he is called the God of all the earth. ⁶ The Lord will call you back as if you were a wife deserted and distressed in spirit—a wife who married young, only to be rejected," says your God. ⁷ "For a brief moment I abandoned you, but with deep compassion I will bring you back. ⁸ In a surge of anger I hid my face from you for a moment, but with everlasting kindness I will have compassion on you," says the Lord your Redeemer.

1 「子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもより多いからだ」と主は仰せられる。2 「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。3 あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ。

4 恐れるな。あなたは恥を見ない。恥じるな。あなたははずかしめを受けないから。あなたは 自分が若かったころの恥を忘れ、やもめ時代のそしりを、もう思い出さない。

5 あなたの夫はあなたを造った者、その名は万軍の主。あなたの贖い主は、イスラエルの聖なる方で、全地の神と呼ばれている。

6 主は、あなたを、夫に捨てられた、心に悲しみのある女と呼んだが、若い時の妻をどうして見捨てられようか」とあなたの神は仰せられる。

7 「わたしはほんのしばらくの間、あなたを見捨てたが、大きなあわれみをもって、あなたを集める。

8 怒りがあふれて、ほんのしばらく、わたしの顔をあなたから隠したが、永遠に変わらぬ愛をもって、あなたをあわれむ | とあなたを贖う主は仰せられる。

Introduction

A Blessed New Year to all!

皆さん、明けましておめでとうございます!祝福された新年でありますように!

The Prophet Isaiah, whose name means "God is Salvation", lived and ministered in Israel in the 8th-century BC. He had a long career as a prophet. The first verse of the Book of Isaiah states that he prophesied during the reigns of Uzziah (or Azariah), Jotham, Ahaz, and Hezekiah, the kings of Judah (Isaiah 1:1). According to Wikipedia, "Uzziah's reign was 52 years in the middle of the 8th century BC, and Isaiah must have begun his ministry a few years before Uzziah's death, probably in the 740s BC···. Thus, Isaiah may have prophesied for as long as 64 years."

今朝は、イザヤ書を読んでいきたいと思います。

預言者イザヤの『イザヤ』という名前は、「神は救い」という意味を表します。イザヤは、紀元前8世紀のイスラエルに住み、その地で宣教を行いました。彼は、長く預言者として働き、多くの経験を持っていました。イザヤ書の冒頭の節に、彼はユダの王ウジヤ(またはアザリア)、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に預言したと書かれています(イザヤ書 1:1)。ウィキペディアによれば、「ウジヤの治世は紀元前8世紀半ばの52年間で、イザヤはウジヤの死の数年前、おそらく紀元前740年代に宣教を始めたはずである。」とあります。従って、イザヤは64年という長い間、預言をしていた可能性があるのです。"

This particular passage speaks of Israel's future. That is, their destruction and reconstitution. Some 200 years later, Israel would cease to exist as a nation. Nebuchadnezzar II would have deported the Israelites to Babylon. Yet, God gives them a promise to bring them back into their land. The Prophet Jeremiah predicted the exile to last 70 years (*See* Jeremiah 25:11~12; Daniel 9:2).

そして、このイザヤ書 54 章 1~8 節には、イスラエルの将来のことが書かれています。それはつまり、イスラエルの滅亡と再建について書かれていると言うことです。この時期から約 200 年後、イスラエルは国家として存在しなくなります。なぜなら、ネブカデネザル 2 世が、イスラエルの人々をバビロンに追放してしまうからです。しかし、神様はイスラエルの人々を自分たちの土地に連れ戻すという約束をしてくれました。そして、預言者エレミヤは、このイスラ

エルに対する追放が 70 年続くと予言したのでした(エレミヤ書 25 章 11~1 2 節、ダニエル書 9 章 2 節 参照)。

So, this is a prophecy about the nation of Israel. It is also a prophecy of hope and a new beginning after they had experienced God's discipline. Let's look at the passage even more closely.

つまり、この聖書箇所には、イスラエルという国についての預言が書かれているのです。そして、その予言は、イスラエルが、神の懲罰を経験した後に、希望と新たな出発を迎えると言うことを意味する預言でもあるのでした。

ではこれから、イザヤ書 54 章 1~8 節をさらに詳しく見てみましょう。

まず、『予言されたイスラエルの未来』について書かれていることがわかります。

- I. Israel's future prophesied
- I. 予言されたイスラエルの未来

The LORD addresses Israel as His wife. He revealed to them what they should expect Him to do after they had gone through their national defeat in the hands of foreign powers. That includes:

主はイスラエルのことをご自分の『妻』と呼びました。外国勢力の手によってイスラエル国家が敗北を経験した後、そんなイスラエルの人々が、主から何を願い望めば良いのかと言うことが、イザヤ書のこの箇所に書かれています。

A. The nation will be able to rejoice like a <u>barren woman</u> who gives birth to many children – vv. 1~3

イスラエルの人々が神様から願い望んだことは、まず、『<u>不妊の女性</u>が多くの子供を産み、国民は喜ぶ』と言うことでした。

- A. 不妊の女性が多くの子供を産み、国民は喜ぶ-1~3節
- 1. "Sing, barren woman, you who never bore a child; burst into song, shout for joy, you who were never in labor; because more are the children of the desolate woman than of her who has a husband," says the Lord" (v.1). In ancient

Israel, the infertile woman carried an enormous baggage of shame and disgrace. Here, God compares captive Israel to a barren woman who can now "sing"— because the Lord's promise of future fruitfulness for the nation.

1. 『子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもより多いからだと主は仰せられる。(1 節)』古代イスラエルでは、不妊の女性は恥と辱めという大きな重荷を背負っていました。ここで神様は、捕われたイスラエルという国を不妊の女性にたとえて、重荷を背負ったその女性が『歌う』ことができるようになった、つまり、『将来、イスラエルという国が実りを得る』という主の約束があるのだと言うことを

The Babylonian exile and captivity was more than oppression for Israel. It also meant shame, disgrace, and humiliation. God promises them a glorious deliverance from not only their deportation to Babylon,

but also from the shame, disgrace, and humiliation.

バビロンへの追放と捕囚は、イスラエルにとって単なる抑圧ではありませんでした。それは、イスラエルにとって、恥や、不名誉、屈辱を意味したのです。しかし神様は、イスラエルの人々をバビロンへの追放から自由にするだけでなく、恥辱と屈辱からの輝かしい解放をも約束されたのです。

In the NT, the Apostle Paul cited this passage in <u>Galatians 4:27</u>, in the context of the miraculous spiritual "birth" of those under the New Covenant. It is also likely that Paul intended to indicate that the children of the New Covenant (Church) would outnumber the children of the Old Covenant (Israel).

新約聖書では、使徒パウロが、<u>ガラテヤ人への手紙 4 章 2 7 節</u>で、このイザヤ書の箇所を引用しており、新しい約束の下(もと)にある人々は、奇跡的に霊的に「**誕生**」するという文脈で述べられています。また、教会として表現される新約の子どもたちが、イスラエルとして表現される旧約の子どもたちよりも数が増えることを意図していたと思われます。

2. Enlarge the place of your tent, stretch your tent curtains wide, do not hold back; lengthen your cords, strengthen your stakes. For you will spread out to the right and to the left; your descendants will dispossess nations and settle in their desolate cities" (vv.2~3). The curse and shame of barrenness would be broken, and Israel would be so fruitful, that they would have to expand their living space. This would

be of particular comfort to the returning Babylonian exiles, who felt themselves small in number and weak. This promise would strengthen them.

次に、2、3節を読んでみましょう。

2.「2あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。 3 あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ。 」 (2~3節)

この節では、不毛の呪いと恥辱が打ち破られ、イスラエルは実を結び、生活空間を広げ ざるを得なくなるということを意味しています。このことは、バビロンから帰還した亡 命者にとっては、特に慰めになりました。なぜなら、バビロンから逃げ出してきたイス ラエルの人々は、自分たちの人口が少なく、弱いと感じていたからです。しかし、この 節に書かれているような神の約束は、イスラエルの人々を強くしたのです。

<u>ILLUSTRATION</u>: It's a lingering issue among Jews and Palestinians in Israel even today. Israel wants to expand settlements in areas where Palestinians claim to be part of their future state. Not only that, because of the ongoing war between Russia and Ukraine, many Jewish people who are living in those countries are making *aliyah* (immigration to Israel).

このことは、現在でもイスラエルのユダヤ人とパレスチナ人の間に残る問題なのです。パレスチナ人は、イスラエルと言う地を自分たちのものにしようとしており、イスラエルのある地域をパレスチナ国家の一部だと主張し、植民化を広げようとしているのです。それだけでなく、ロシアとウクライナの戦争が続いているため、それらの国に住んでいる多くのユダヤ人が、**アリア**と呼ばれるイスラエルへの移民手続きを行っているのです。

B. The nation of Israel will be restored <u>like a widow</u> who is rescued from her reproach – verses $4\sim6$

また、イスラエルの人々が神様から願い望んだ二つ目のこととは、『**非難から救われた<u>やもめ</u>のように、イスラエル民族が復興する**』と言うことでした。

- B. 非難から救われたやもめのように、イスラエル民族は復興する(4~6節)
- 1. "Do not be afraid; you will not be put to shame. Do not fear disgrace; you will not be humiliated. You will forget the shame of your youth and remember no more the reproach of your widowhood" (v.4). Just as God compared the disgrace of Israel to

the shame of barrenness, now He compares their humiliation to the reproach of widowhood. Here, the LORD promises rescue from Israel's shame.

4節を読みます。

1. 『4 恐れるな。あなたは<u>恥</u>を見ない。恥じるな。あなたは<u>はずかしめ</u>を受けないから。 あなたは自分が若かったころの<u>恥</u>を忘れ、<u>やもめ時代のそしりを、もう思い出さない。</u> $(4\,\hat{\mathrm{m}})$ 』

この節では、神様はイスラエルの恥辱を不妊の恥辱にたとえられたように、今度はイスラエル民族の屈辱を、やもめ、すなわち配偶者を亡くした者が受ける恥辱にたとえておられます。ここで主は、イスラエルを屈辱から救出することを約束してくれているのです。

Israel's sins brought on the Egyptian captivity, the Babylonian exile, and her current dispersion, but the glories of the future kingdom will be so great that they will overshadow past failures.

確かに、イスラエルの罪は、過去には、エジプトでの捕囚、バビロンへの追放、そして現在では、民族の離散をもたらしてしまいましたが、未来のイスラエルの王国の栄光は、過去の失敗を覆すほど偉大なものとなりました。5節を読んでいきましょう。

2. "For your Maker is your husband" (v.5).

Though Israel might have been regarded as abandoned as a widow, the LORD promises to stand as her husband.

5節には、「**あなたの夫はあなたを造った者**」と書かれています。

2. 「あなたの夫はあなたを造った者」 (5節)

イスラエルは、やもめのように見捨てられたと思われたかもしれませんが、主は、やもめである女の夫のように、イスラエルのために立ちあがることを約束されたのでした。 その約束のことが、5、6節に書かれていますので、お読みします。

⁵ For your Maker is <u>your husband</u> the Lord Almighty is his name—the Holy One of Israel is your Redeemer; he is called the God of all the earth. ⁶ The Lord will call you back as if you were a wife deserted and distressed in spirit—a wife who married young, only to be rejected," says your God.

5 **あなたの夫**はあなたを造った者、その名は万軍の主。あなたの贖い主は、イスラエルの聖なる方で、全地の神と呼ばれている。 6 主は、あなたを、夫に捨てられた、心に悲しみのある女と呼んだが、若い時の妻をどうして見捨てられようか」とあなたの神は仰せられる。

<u>APPLICATION</u>: Through the centuries, many hurting women have taken this promise for themselves. Forsaken by a husband (or, unable to find a husband), they have found beautiful comfort in the promise that God would be a husband to them, when all others forsook them. The principle holds true: *God will supply and meet our needs (including emotional needs), and rescue us from our disgrace and shame, when others have abandoned us.*

何世紀にもわたって、多くの傷ついた女性たちがこの約束を自分たちのために信じてきました。 夫に見放され、あるいは、夫を見つけることができず、他のすべての人が彼女たちを見捨てた としても、神が彼女たちの夫となるという約束に、美しい慰めを見いだしたのです。このこと は真実です。神は私たちの必要(感情的な必要を含む)を満たし、たとえ他の人が私たちを見 捨てたとしても、私たちを不名誉と恥から救い出してくださるのです。

3. "The Lord Almighty is his name" (v.5). To comfort and strengthen His people, God reminds them of how wonderful of a Savior He is. God is "the Holy One of Israel is your Redeemer; he is called the God of all the earth." Not only does God supply a husband, but a magnificent One — Himself.

また 5 節には、『**全地の神と呼ばれている**』と書かれています。

3. 『全地の神と呼ばれている』(5節)。

この節では、神様は民を慰め、強めるために、神様がどれほど素晴らしい救い主であるかを思い起こさせてくださっています。神様は 『イスラエルの聖なる方で、全地の神と呼ばれている。』のです。神様は『夫』であるだけでなく、壮大な方であられます。そして、ご自身を私たちに差し出してくださった方なのです。

This is reminiscent of our Lord Jesus Christ setting a holy example to human husbands. Ephesians 5:25~27 - ²⁵ Husbands, love your wives, just as Christ loved the church and gave himself up for her ²⁶ to make her holy, cleansing her by the washing with water through the word, ²⁷ and to present her to himself as a radiant church, without stain or wrinkle or any other blemish, but holy and blameless.

このことは、私たちの主イエス・キリストが人間の夫として、聖なる模範を示されたことを思い起こさせるものでもあります。そのようなキリストの、夫としての模範のことが、エペソ人への手紙5章に書かれていますので、お読みします。

<u>エペソ人への手紙 5 章 25~27 節</u> - 25 夫たちよ。<u>キリストが教会を愛し</u>、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、27 ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

<u>APPLICATION</u>: When God says that He will meet our needs when others forsake us does not leave us to a place of *"second best."* He can be a greater husband than any man can be. This is something for every single woman to remember and something no married woman should forget. An earthly husband can never fulfill every need that the great Heavenly Husband can.

しかし皆さん、ここで忘れないでください。『他の人が私たちを見捨てても、神が私たちの必要なものを満たしてくださる』と言うことは、決して私たちを 『二番手』の場所に置き去りにするという意味ではありません。神様はどんな男性よりも偉大な夫となることができる方なのです。このことは、すべての独身女性が覚えておくべきことであり、既婚女性が忘れてはならないことです。天国の偉大な夫は、必要なすべてを満たすことができますが、地上の夫は、すべてを満たすことはできないのです。

C. God describes His restoration of Israel – verses 7~8

⁷ "For a brief moment I abandoned you, but with deep compassion I will bring you back. ⁸ In a surge of anger I hid my face from you for a moment, but with everlasting kindness I will have compassion on you," says the Lord your Redeemer.

では、イスラエルの人々が神様からいただける復興について、どのように『イスラエルが復興』 するのかについて書かれているので見ていきましょう。 7、8節では、『神様が、イスラエル の復興について説明しています』。

C. 神様は、イスラエルの復興について説明しているー7~8節

7 「わたしはほんのしばらくの間、あなたを見捨てたが、大きなあわれみをもって、あなたを集める。 8 怒りがあふれて、ほんのしばらく、わたしの顔をあなたから隠したが、永遠に変わらぬ愛をもって、あなたをあわれむ」とあなたを贖う主は仰せられる。

1. "For a brief moment I abandoned you" (v.7a). God never really forsook Israel, yet He recognized that they felt forsaken. God said, "for a brief moment I allowed you to feel that I have abandoned you."

7節に、「ほんのしばらくの間、あなたを見捨てた」と書かれています。

1. 「ほんのしばらくの間、あなたを見捨てた」 (7節 a)

神はイスラエルを本当に見捨てた訳ではありませんでしたが、イスラエルの民は神に見捨てられたと感じていました。そして神様は、この7節で「ほんのしばらくの間、あなたを見捨てたと感じることを許そう」とイスラエルの民たちに言っておられるのです。

2. "But with deep compassion I will bring you back" (v.7b). The "abandoned" is in the <u>present tense</u>; the "deep compassion" are in the <u>future tense</u>. Israel has basis to set their hope and trust in the LORD, though they feel forsaken at the moment.

また、7節の後半では、『**大きなあわれみをもって、あなたを集める**。』と書かれています。

2. 『大きなあわれみをもって、あなたを集める。』(7節b)

7節前半の『見捨てた』と言う言葉は<u>現在形</u>で、後半の『大きなあわれみ』と言う言葉は<u>未来形</u>で表されています。ですから、イスラエルが、今は見捨てられたと思いながらも、主に希望と信頼を置いていると言うことが、この箇所から読みとることができます。

- 3. "In a surge of anger I hid my face from you for a moment, but with everlasting kindness I will have compassion on you" (v.8). The contrast is between the moment of feeling forsaken and the everlasting nature of the kindness that will come.
 - 3. 『 怒りがあふれて、ほんのしばらく、わたしの顔をあなたから隠したが、永遠に変わらぬ愛をもって、あなたをあわれむ」とあなたを贖う主は仰せられる。』 (8 節) そして 8 節では、見放されたと感じる瞬間と、その後に訪れる永遠の優しさの対比が書かれています。

<u>APPLICATION</u>: When we feel tried and forsaken, we should recognize that it is just for a moment, and the everlasting blessing will certainly come.

試練を感じたり、神に見捨てられたと感じても、そのような試練は一瞬のことであり、永遠の 祝福が必ずやってくることを知らなければいけません。 さらに、イザヤ書 54 章 $1\sim8$ 節には、『神様の約束』について書かれていることがわかります。 今日は新年ですので、『新年の神様の約束』について考えてみましょう。

II. God's promises for the New Year II. 新年の神様の約束

Biblical prophecies are God's promises for us too. Here are some things we can hope and trust God for as we enter this New Year:

聖書の預言は、私たちに対する神様の約束でもあるのです。今日の聖書箇所のイスラエルのように、この新年を迎えるにあたり、私たちが神に願い望むべきことをいくつか挙げてみましょう。

A. Enjoy your life in God - ¹ "<u>Sing</u>, barren woman, you who never bore a child; <u>burst into</u> <u>song</u>, <u>shout for joy</u>, you who were never in labor; because more are the children of the desolate woman than of her who has a husband," says the Lord.

まず、私たちが『**神と共にある人生を楽しむ**』ことができるように願い望みましょう。

- A. 神と共にある人生を楽しむー1 「子を産まない不妊の女よ。喜び<u>歌え</u>。産みの苦しみを知らない女よ。**喜びの歌声をあげて叫べ**。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもより多いからだ」と主は仰せられる。
 - と、1節に書かれています。
- B. Enlarge your capacity ² "Enlarge" the place of your tent, <u>stretch</u> your tent curtains wide, do not hold back; lengthen your cords, strengthen your stakes.

次に、私たちが『**能力や度量を大きくできる**』ように願い望みましょう。

- **B. 能力や度量を大きくするー**2 「あなたの天幕の場所を<u>広げ</u>、あなたの住まいの幕を<u>惜し</u> みなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。
- と、2節に書かれています。

C. Emasculate fear from your life - 4 "<u>Do not be afraid</u>; you will not be put to shame. <u>Do</u> <u>not fear</u> disgrace; you will not be humiliated. You will forget the shame of your youth and remember no more the reproach of your widowhood.

次に、私たちが『人生から恐れをなくす』ことができるように願い望みましょう。

C. 人生から恐れをなくす - 4 <u>恐れるな</u>。あなたは恥を<u>見ない</u>。恥じるな。あなたははずかしめを受けないから。あなたは自分が若かったころの恥を忘れ、やもめ時代のそしりを、もう思い出さない。

と、4節に書かれています。

Conclusion/Application

To receive the prophecies as true is to accept them as God's promises to us. A promise from God is a statement we can depend on with absolute confidence. We can trust Him that He is able to do what He has promised for as the passage says:

予言が真実であると受け入れることは、予言を私たちに対する『神からの約束』として受け入れることです。『神からの約束』とは、私たちが絶対的な信頼を持って頼ることができる言葉です。聖句にあるように、私たちは、神が約束したことが必ず実行され成就されることを信じましょう。最後に、5節を読んで、今日の話を締め括りたいと思います。

⁵ For your Maker is your husband the Lord Almighty is his name—the Holy One of Israel is your Redeemer; he is called the God of all the earth.

5 あなたの夫はあなたを造った者、その名は万軍の主。あなたの贖い主は、イスラエルの聖なる方で、全地の神と呼ばれている。